

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 319

事務事業名	市営牧場維持管理事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	古賀 誠司	内線	257

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040104	魅力ある農林水産業の振興
施策		畜産業の振興
関連施策		

会計	1	一般
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	4	畜産業費
事業コード	030000	市営牧場維持管理事業

事業類型	6	施設維持管理(補修)事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	酪農家、肉用牛繁殖農家及び肉用牛肥育農家		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	自然に近い環境で放牧することで、健康な牛の飼育を意図している。 また、草地にて牧草を自家栽培することで、安全かつ安定した自家飼料の確保が可能となる。 預託農家は、飼料給餌及び糞尿処理等に係る労働力を削減することができ、預託されていない牛の育成に労働力を集中することができる。		
事業概要	放牧場の維持・管理運営を長崎県央農協に委託する。 委託内容は、預託家畜の承認、放牧、飼育管理、運搬・引き渡し、放牧場の有害物の除去・害虫駆除、施設の維持・管理等にわたる。 1頭あたりの牧場預託料として、市内農家は430円/日、市外農家は450円/日を負担する。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	昭和 42 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	大村市牧場条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 1日平均の預託頭数	計画値	100	100	100	80	H28年度から指標変更
		実績値	65	78	73		
		達成度	65.0%	78.0%	73.0%		
成果指標	① 年間の預託頭数(延べ)	計画値	36,500	36,500	36,500	29,200	
		実績値	23,552	28,012	27,155		
		達成度	64.5%	76.7%	74.4%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	20,211	18,978	25,460	19,421	24,454	24,454	24,454	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	3,827	3,427	3,753	4,102	4,167	4,167	4,167	
一般財源	16,384	15,551	21,707	15,319	20,287	20,287	20,287	
② 人件費(千円)	1,589	1,511	2,186	2,212	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.20	0.31	0.30	事業概要のとおり	事業概要のとおり	事業概要のとおり	
時間外勤務(時間)				15				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	21,800	20,489	27,646	21,633				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	・牧場利用者協議会をH27年度中に3回開催し、預託農家との協議を行った。 ・牛舎の漏水の修繕や農業用トラクターを購入した。 ・草地の有効活用により、例年並みに粗飼料の確保ができた。
事業が抱える問題・課題等	施設及び機械等の老朽化に伴い、年度ごとに施設改修・設備更新計画を立て、随時実施する必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
指定管理者制度の導入により、安定かつ効率的な牧場経営が行われている。							
牧場預託料に関して、平成22年度に預託料の改定を初めて行った。今後も状況に応じた改定が必要と考えられる。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市内唯一の公営牧場であることから、乳用牛、肉用牛の高品質な育成に寄与しており、今後も継続していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。